

1. 本日はファイナンス、ベンチャー投資の面からお話をさせていただきます。
2. IGPIでは「知的財産戦略ネットワーク株式会社(IPSAN)」を設立し、ライフサイエンス分野の経営支援を行っています。
3. 「知的財産戦略ネットワーク株式会社(IPSAN)」は秋元社長(元武田薬品工業常務取締役)をトップに知財インキュベーションを支援しています。
4. IPSANは産業革新機構と協業して、我が国初の知財ファンドである「LSIP」の運営を行っています。
5. 「LSIP」には産業革新機構の他に民間製薬会社が出資を行っています。

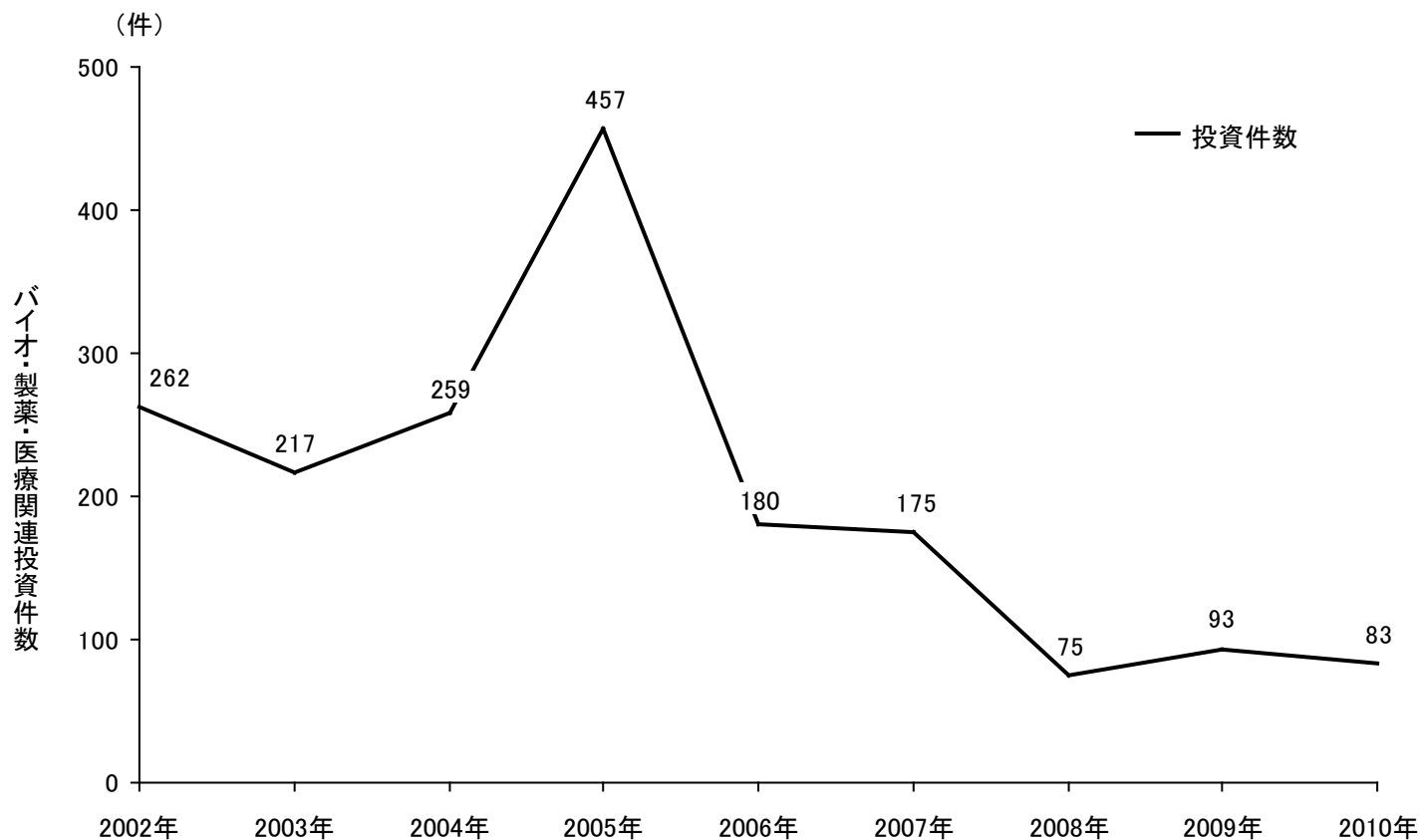
## 医療におけるイノベーション分野での問題意識

1. 研究・経営支援を行うマネジメント人材の不足
2. 10億円規模の投資が可能なベンチャーキャピタルの不在
3. 海外との技術的、ファイナンス的ネットワークの不足
4. 創薬等の医療ベンチャー企業のEXIT先の不足

# 日本のベンチャー投資におけるバイオ・製薬・医療関連投資件数の変化

## 日本のベンチャー投資におけるバイオ・製薬・医療関連投資件数の変化

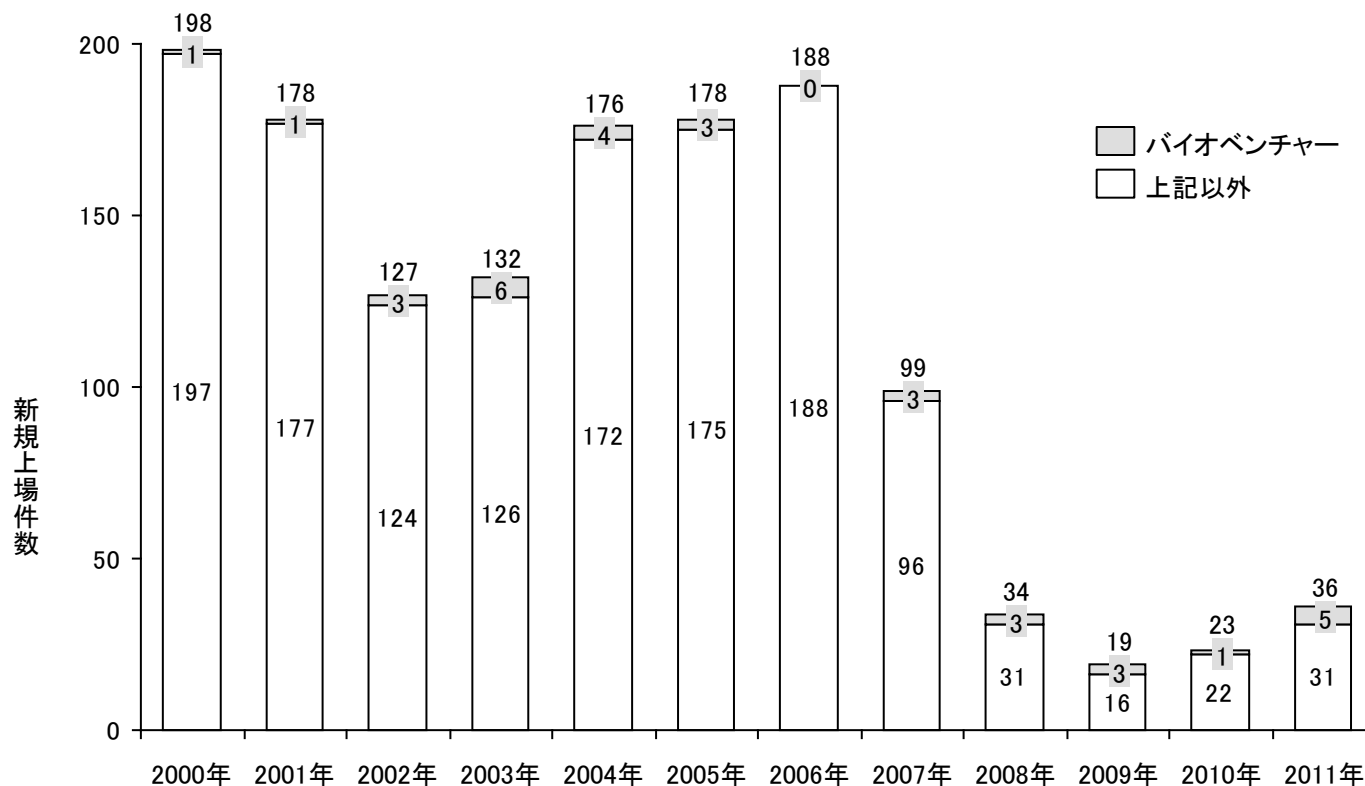
(2002年～2010年)



# 日本の新規上場とバイオベンチャー上場の推移

## 日本の新規上場とバイオベンチャー上場の推移\*1

(2000年～2011年)



\*1: : 新規上場とは、他の取引所に未上場の会社が上場すること(新規株式公開、直接上場)を対象とし、一部指定や市場変更は含まない

\*2: : バイオベンチャーとは、経済産業省による定義(新薬の研究や開発、遺伝子治療といった医療技術に関わるベンチャー企業)に従う

出所: 経済産業省「これからのベンチャー投資活性化に関する調査」、バイオインダストリー協会「2012年バイオベンチャー統計・動向調査報告書」をもとにIGPI推計